

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 3 月 31 日

事業所名 まなびの森

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・普段は、運動・机上で部屋で分けているが、ダイナミックに遊ぶときは開けて広く使う等工夫をしている。分けることで落ち着いて活動に取り組んでいます。	・適切な療育環境が維持できるよう、コロナ禍での工夫を今後も継続していきます。 ・多様な活動が実施できるよう、室内に留まらず、公園や園庭などを活用していきます。
	2 職員の配置数は適切である	○		・適切な職員を配置にするだけでなく、内部研修やWeb研修を活用し、支援の質の向上に取り組んでいます。	・言語聴覚士や作業療法士等の専門職による活動を取り入れることで、活動の幅を広げていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・室内は窓があり明るい環境で、室内入口より不要な段差はありません。子どもの特性を踏まえ、時間や空間を分かりやすく、構造化した作りに努めています。 ・活動への安心や集中を促す事が出来る様に、子どもの特性や状況に応じて環境の配慮等の工夫をして対応しています。	・建物は保育所及び障害児通所支援事業所のために令和4年3月にできた新築のため、まだ設備面の懸念はありません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎日、療育後の掃除は職員全員で行っている。床に寝転んで行う活動もあるので、清潔を保てるように心がけています。	・コロナ禍、園内の清掃、消毒、換気などこれからも留意し、感染症対策を心掛けていきます。 ・今後も物をあまり置かず、ダイナミックに子どもが動いても危険のないように配慮していきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・全員で活動の流れや注意点の確認をしている。活動後に振り返りをして、情報共有や支援方法の検討を行っています。	・さまざまな業務改善に向けての取り組みを進めていくために、職員の参画意識の向上に引き続き取り組んでいきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者との面談、相談を通して保護者の意向を確認し、必要に応じた業務改善をしています。 ・ご意見については、すぐに全職員に周知、検討をし、業務改善につなげています。	・今年度の評価を生かして、新たに改善すべき点は検討していきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・事業所における自己評価結果及び保護者等からの事業所評価の集計結果をホームページにて公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・半年に一度法人として評価があるので、評価内容を真摯に受け止め、改善に努め積極的に取り組んでいます。	・今後、実施時期も含めて検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・法人内の研修や外部研修に、オンラインを活用しながら参加しています。 ・事業所内研修も定期的を実施し、職員の資質の向上に努めています。 ・法人として職員の自主研修の費用を負担する制度があります。	・ムーブメント療育が主体となって支援に取り入れているので、外部講習に参加するなど引き続き資質向上を図っていきます。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・保護者との面談や子どもの興味関心、活動支援への参加状況から保護者子ども両方のニーズや課題を抽出し作成しています。	・今後も保護者様のニーズ・思いをくみ取り、一人ひとりに応じた支援目標と支援計画を作成していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・発達検査や知能検査の結果等を確認しています。	・今後もフォーマル/インフォーマルなアセスメントをすることで、より子どもに合った療育が提供できるようにしています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・個別計画は児童発達支援ガイドラインに基づき、面談や日々の療育を通じて、子ども自身の強みを大切に保護者の思いを加味し、一人ひとりに応じた支援目標と具体的な取り組み内容を設定しています。	・今後も保護者同席の支援等も実施し、本人への発達支援と保護者支援にも力を入れていきたい。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・計画を全ての職員で確認し、共通理解を持ち支援しています。 ・終了後は支援の状況について確認し、次回に生かすことができるようにしている。	・今後も保護者との面談時には計画に沿っているか確認し、必要に応じて修正をし、丁寧に進めていきます。

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムは独断にならないよう、全スタッフの意見を入れています。 ・子どもの支援計画や前回の活動の取り組み状況を確認し、毎日プログラムを相談、確認しています。 	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち1人ひとりの発達動きに合わせて、内容を変えている。 	・今後も有意義な成功体験や達成体験が得られる機会の提供を目指していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動、集団活動を適宜組み合わせ、子どもや保護者のニーズを踏まえながら適切に計画を作成しています。 	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせを実施し、全職員で当日の内容や流れ、子どもの状態や留意すべき点等必要事項の情報を共有・確認しています。 	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・限りある時間の中で業務を行うため、効率よく日々の業務が実施できるよう、1日の予定と時間配分を決めています。その時間を意識して業務を行っています。 ・常に情報共有を行い、次の支援に備えて準備を行っています。 	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づく支援に対する記録を基本に、その日の状況等を記録しております。 	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日々モニタリングの視点で一人ひとりに合った適切な支援を心掛けています。 ・面談と言う形で保護者とも子どもの成長の変化を共有した上で、計画の見直しについて確認しています。 ・職員間でも評価を行い、見直しの必要性について確認し更新しています。 	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・管理者、児発管、担当職員のうち、適切と思われる職員が参画しています。 	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育てサロンや区内が主催するイベントに子どもたちと参加しています。 ・人工内耳の子どもが1名通っています。本児が通っている病院の言語聴覚士さんと連携を図り、見学にも来て頂いています。なるべくその際にアドバイスを頂き療育に生かしています。 	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				対象児童はいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				対象児童はいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが通っている保育園には、必要に応じて訪問や電話などで情報交換をしています。 ・保育園の職員からの事業所見学の希望も受け入れています。 	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・年長児は、保育園・就学先の小学校とも要録等を通して情報共有を図っています。 	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、各市町村の担当者と連携し、今年度は緑区自立支援協議会に参加しています。 	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		<ul style="list-style-type: none"> ・施設が保育所内にあるため、インクルーシブ保育を実施し、交流を図っています。 	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・イベントなどに参加したり、講師として交流する時があります。 	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・面談や電話で相談された場合は、アドバイス等をしていましたが、全体的に向けてはありませんでした。今後は保護者の勉強会も考えていきます。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		・家族支援プログラムという名称ではありませんが、面談等を通してお子さんの特性理解や学び方、関わり方へと繋がる家族支援を実施しています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・主に契約時に丁寧な説明を心掛けています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・個別支援計画書の更新に合わせて、目標と支援内容の確認を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・コロナ禍だったこともあり、なかなか実施できなかったが、3月に親同士も楽しめる会を実施し、保護者同士の交流を行っています。	・来年度からコロナの状況も変わるため、親子・親同士が楽しめる会を企画していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・面談では必ず要望などあるかを確認し、職員間で周知改善しています。 ・すぐに対応することができることは、早く実施し解決方法を考えています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・面談実施時にわかりやすく説明をしています。 ・ブログなどのインターネットに活動の状況を載せて情報発信をしている。	・今後は、活動内容や子どもの様子がわかるよう、年4回おたよりの発行を考えていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・ブログなどのインターネットに掲載する情報（写真）について同意を頂いている。 ・ブログなどのインターネットに掲載する写真や作品、外部で展示する作品など、個人が特定できないよう掲載の工夫を工夫し、保護者にも伝えていきます。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・保護者とは電話やZOOM、直接お会いするなど、意思疎通しやすい手段を取っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・コロナ禍だったため、実施していません。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・各種マニュアルを整備し、保育園と連携して毎月の避難訓練の災害や事故等に備えた訓練を実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・保育園と連携して毎月の避難訓練の災害や事故等に備えた訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・入園前のアセスメント及び入園後も継続して職員が一人ひとりのお子さんの状況について確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	/	/		対象児童はいません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・事業所だけでなく法人全体でもヒヤリハットの事例を共有し、再発防止策を確認しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・法人全体でも研修を実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・命にかかわる場合や、お子さんの安全のために必要な場合には事前にご家族と相談確認し、了解を得たうえで実施することとしています。	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表： 2023年 3 月 31 日

事業所名 まなびの森 保護者等数(児童数 23 回収数 23 割合 100 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	0	0	2	・確保されています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	0	0	5	・適切であると感じます。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	1	0	3	・絵などで分かりやすく工夫されていると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	1	0	3	・いつ行ってもキレイに清潔感があります。 ・床が滑りやすく、固い素材なので転倒しないか少し心配。	・特に身体を動かして遊ぶ活動については、動きやすい服装に着替えるなどして、危険のないように取り組んでいく。引き続き靴下ははかない。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	21	0	0	2	・しっかり話を聞き作成してくれています。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもへの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22	0	0	1	・面談時に支援計画書など共有頂いています。 ・選択や支援は適切だと感じます。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23	0	0	0	十分支援頂いています。計画に沿って実施して頂いています。	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	20	0	0	3	・毎回異なるプログラムで子どもが飽きないように工夫されています。 ・制作活動が多めに感じる。お散歩なども行ってほしい。	・時には、近くの公園に行ったりしますが、外遊び等は保育園で体験できるので、できない部分を丁寧に関わっています。身体を使うことや座っての作業が苦手な子もいるので、動(運動)と静(机上)の活動をバランスよく取り入れて療育します。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17	0	1	5		
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	0	0	1	・丁寧に説明してくれました。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	23	0	0	0	・丁寧に説明してくれました。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	11	3	3	6	・面談時にご相談はさせて頂いていますが、ペアレントトレーニングを強化して頂けると助かります。 ・保護者に対してもアドバイス頂けます。	・面談などで相談がある場合は、アドバイス等をしていましたが、全体に向けてはなかったので、今後は保護者の勉強会も考えていきたいと思っています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	18	1	3	1	・持ち帰ってくる作品等で成長を感じられずごくうれしく思います。 ・ノートや写真等がないので、その日何をしたのかどんな様子で過ごしたのか分からなかった。	・日々の療育内容は保育園を通してだけでしたので、うまく伝わってないことも多かったと思います。今後は、メールなどを活用して伝えられるように検討していきます。

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	0	1	2	・面談時にさせて頂いています。 ・面談以外でも簡単なもので良いので、当時の活動内容や様子が知れたらうれしいです。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	5	2	7	・まだこれからだと思っています。 ・今後開催されると思っています。	・今後も3月に行った親子ムーブメントや親同士が楽しめる会を行っていきたいと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されるとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	1	0	6 未記入2	・まだこれからだと思っています。 ・面談時にさせて頂いています。 ・対応が迅速で信頼できます。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1	2	3	・面談時にさせて頂いています。 ・連絡ノートやメール等があると本人に聞こえず先生だけに伝えやすいので助かります。	・仕事でお忙しいと思いますが、電話・メールでの対応もしていますので何時でもご相談ください。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	2	3	10	活動予定等の配布がないので、日々何をするか楽しみな反面、本人に予告できなかったのが少し気になりました。	・今後はブログ等のインターネットへの掲載を増やしたり、日々の療育内容も月ごとにお伝えできればと思っています。
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	21	0	0	2	・顔出OKか確認してくれてしっかりしています。		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	4	2	2	15	・訓練の実施は分かりません。	・マニュアルはありますが、十分に保護者の方に周知してなかったと思います。訓練については保育園と一緒にしています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	2	2	15 未記入1	・訓練の実施は分かりません。	・避難訓練については、保育園と一緒にしています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	22	1	0	0	・毎回楽しみに通っています。 ・通い始めてから周囲への興味が広がったと感じております。	・今後も子どもたちが楽しんで通ってくれるよう、色々な体験をしていきたいと思っています。
	23	事業所の支援に満足しているか	21	2	0	0	・本人が楽しんでくれているのが分かり、その姿を見てもうれしく思っています。 ・病気等のお休みは大変なので、お休みの連絡等は保育園と連携をとって一度に済むと助かります。	・子どもたちをはじめ家族みんなが楽しめる企画を今後も考えて実施していきたいと思っています。

*1 この部屋で何をすることを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。